

予算

本年度の当初予算が令和6年第1回定例会で審議され、3月11日に可決成立しました。その概要をお知らせします。

財政課 ☎32-1748

令和6年度一般会計

350億3,918万円

会計別の予算

区分	令和6年度当初	令和5年度当初	増減率
一般会計	350億3,918万円	332億7,175万円	5.3%
特別会計	国民健康保険	80億7,970万円	78億3,427万円 3.1%
	後期高齢者医療	11億1,398万円	10億4,391万円 6.7%
	介護保険	66億1,204万円	73億4,815万円 △10.0%
	奨学金	1,027万円	1,169万円 △12.1%
企業会計	水道事業	19億4,992万円	17億6,552万円 10.4%
	下水道事業	29億5,500万円	28億530万円 5.3%
合計	557億6,009万円	540億8,059万円	3.1%

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計金額です。

選択と集中の予算編成と市民目線の行財政運営

本年度は、社会保障関係費の増大をはじめ、小中学校や文化施設の改築、道路などの長寿命化や維持管理を進めるため、前年度を上回る大型の予算規模となりました。

合併のメリットでもあった合併特例事業債が令和5年度に発行上限額に達し、市の財政運営は大きな転換期を迎えています。今まで以上に事務事業の厳選が求められる中、選択と集中を念頭に置き、国県支出金や基金、財政的に有利な市債などを最大限に活用して当初予算を編成しました。

特に、国営緊急農地の再編や市道大野川リバーサイドロード線の整備、豊野町の総合公園整備など、重点施策に位置付けた事業へは優先的に予算を配分し、給食費の無料化、小中学校施設の建て替えなど、市の将来を担う子どもたちを育む分野へも重点的に投資をしています。

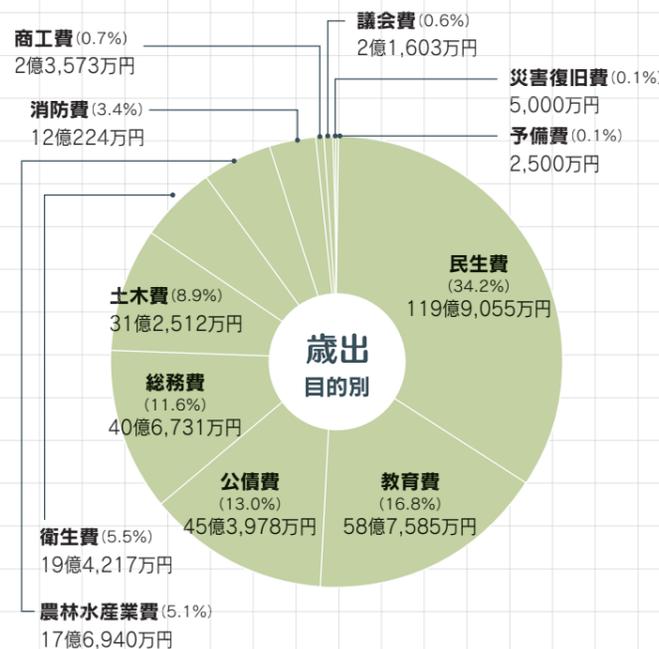
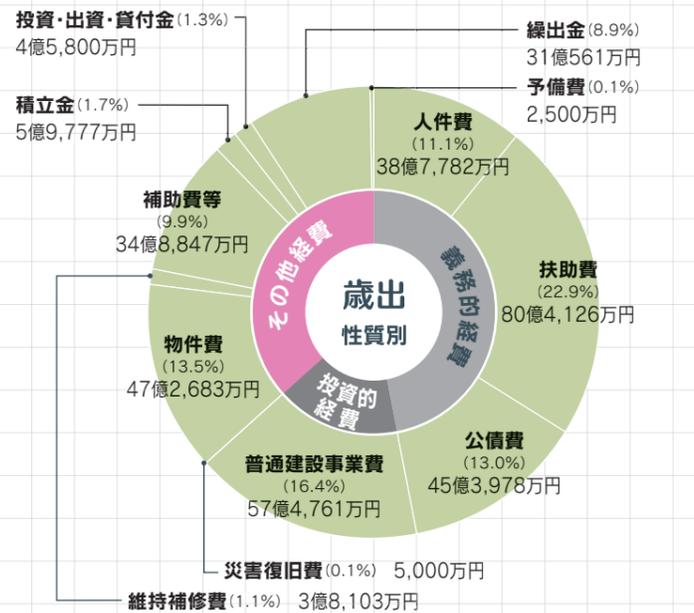
引き続き「ちやうどいい都市」の実現に向け、「市役所改革プラン」に基づく市民目線に立った行財政運営に取り組んでいきます。

令和6年度 市の主な事業と予算

令和6年度に実施予定の主な事業と歳出予算について、「第2次宇城市総合計画」の5つのまちづくり基本目標に沿って紹介します。

「育てる」まちづくり	学校教育・子育て支援
<ul style="list-style-type: none"> 高校3年生までの子ども医療費助成 1億7,800万円 市内学校給食の無料化 2億8,200万円 保育所などの副食費無償化 5,400万円 松橋中学校建替事業費(校舎棟改築工事費) 17億6,300万円 豊福小学校建替事業費(改築設計業務委託料) 2億円 	
「住み続ける」まちづくり	生活環境・健康福祉・社会福祉
<ul style="list-style-type: none"> さしより野菜推進事業費 400万円 定期予防接種業務委託費 1億8,300万円 保健福祉センター中規模改修工事測量設計費 1,500万円 	
「持続する」まちづくり	産業経済・都市機能・行財政改革
<ul style="list-style-type: none"> 国営緊急農地再編整備事業基金元金積立金 1億6,200万円 道路新設改良費、道路維持費 9億3,900万円 小川駅周辺整備基本計画策定業務委託料 2,900万円 	
「選ばれる」まちづくり	観光物産・移住定住
<ul style="list-style-type: none"> 市制20周年イベント開催業務 2,500万円 子育て世帯定住促進事業補助金 3,000万円 企業誘致関係補助金 1億4,100万円 豊野総合公園整備基本計画策定業務委託料 1,200万円 	
「活躍する」まちづくり	雇用・男女共同参画・交流・文化スポーツ
<ul style="list-style-type: none"> 図書館・美術館指定管理業務、企画展開催費 1億6,200万円 小川総合文化センター中規模改修工事 7億6,000万円 豊野トレーニングセンター中規模改修工事 2,300万円 龍驤館耐震補強工事 1億3,000万円 元寇所縁のネットワーク事業 2,500万円 	

一般会計 歳出



各種交付金

各種交付金 (5.2%)	18億2,165万円
地方消費税交付金	13億4,840万円
地方特例交付金	2億8,396万円
ゴルフ場利用税交付金	3,543万円
法人事業税交付金	8,475万円
環境性能割交付金	2,303万円
配当割交付金	1,791万円
株式等譲渡所得割交付金	1,972万円
交通安全対策特別交付金	587万円
利子割交付金	258万円

歳入の構成

自主財源 (29.9%)	104億7,690万円
依存財源 (70.1%)	245億6,228万円

()は構成比

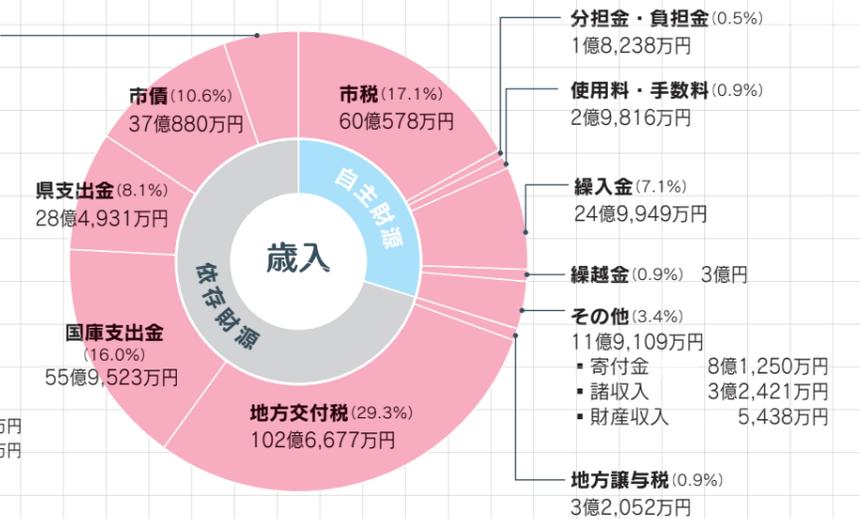
歳出のポイント

- 性質別** 人件費、扶助費、公債費で構成する義務的経費が約165億円と全体の47%に。
- 目的別** 児童・障がい福祉などを構成する民生費が約120億円で最も多く、続いて教育費が約59億円、公債費が約45億円と上位を占めています。

歳出の状況

- 教育費** 小川総合文化センターの改修工事や学校給食の無料化などで増
- 総務費** ふるさと応援寄附基金の元金の積み立てや豊野総合公園整備基本計画の策定などで増
- 土木費** 道路の維持工事や下水道事業会計への出資金などで増
- 農林水産業費** 新規就農者を育成するための補助金や海岸のメンテナンス工事などで増

一般会計 歳入



歳入のポイント

地方交付税、国庫・県支出金、市債などで構成する依存財源が約246億円と全体の約70%を占めており、国や県の動向に左右されやすい財政構造となっています。

歳入の状況

- 繰入金** 歳入が不足しているため、市の貯金である財政調整基金を21億6,699万円取り崩し、基金残高は73億9,753万円になる見込み
- 国庫支出金** インフラ整備や国重要文化財の耐震補強工事に対する補助金などで増
- 市債** 下水道施設や小川総合文化センターの整備に伴う借入などで増
- 地方特例交付金** 住宅ローン減税や定額減税の実施による減収補てん交付金などで増